

事業所名

佐賀整肢学園こども発達医療センター ひよこ教室

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

14日

法人（事業所）理念		基本理念「感性」「先進」「情熱」時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて医療・福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組む。		
支援方針		「利用者本位」利用者とその家族の思いをわが思いとして、利用者の明るく、充実した暮らしの実現に努める。 「自己研鑽」医療・福祉の専門職としての熱意を持って、常に自己研鑽に努め、利用者の処遇向上に努める。 「地域貢献」地域の医療福祉の拠点施設として、その機能と役割を十分に発揮して、地域社会との連携に努める。		
営業時間		10時から15時まで ※家庭状況を勘案しての延長支援あり。最長で8:30～17:30までの間で受け入れ可能。	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	感染症の状況に留意し、本人及び家族・関係機関と協力しながら感染防止に努めます。年齢を重ねる度に、身体・心に変化がおこります。痙攣発作等様々な疾病を抱えている児は、体調や体の変化にあわせて対応を検討する必要があります。医療機関と連携を図りながらサポートを行います。基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成するための支援方法を考えサポートします。睡眠・食事・排泄については、個性・特性を踏まえながら本人に取り組んでいただくことと、サポートすることを整理して就学に向けての準備を行います。※こどもセンターの医療支援(病院及びリハビリ)を利用対象児に関しては、ひよこ・病院・リハビリらで協力してチームサポートを行います。		
	運動・感覚	すみれクラス＝ちいさなデキル事に注目します。デキル事を楽しみながら、体のコントロールをする練習を行います。練習を積み重ねた中で、デキル事を広げて目的と行動の一致を目指し更なる意欲や達成感を育てていきます。療育活動では、五感への刺激を留意して、体の感覚やさまざまな感触に触れることによって感覚の成長を促していきます。 ひまわりクラス＝運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚に触れ、感覚の成長を支援します。感覚の成長は、気持ちやテンションのコントロールにも役立ちます。		
	認知・行動	個性・特性にあわせて、就学に向けた目標と課題の明確化を図っていきます。本人・家族・関係機関と連携を図りながら、サポートを行います。※こどもセンターの医療支援(病院及びリハビリ)を利用対象児に関しては、ひよこ・病院・リハビリらで協力してチームサポートを行います。すみれクラス＝ちいさなデキル事に注目します。デキル事を楽しんで、認知し行動したり行動の広がりにつけていきます。ひまわりクラス＝目標と課題にあわせた支援を行い、急がずスモールステップで行います。視覚支援を交えてわかりやすく、本人が集中しやすい環境づくりをこころがけます。本人が楽しいと感じられるように関わり方や内容を工夫します。		
	言語コミュニケーション	個性・特性にあわせて、就学に向けた目標と課題の明確化を図っていきます。本人・家族・関係機関と連携を図りながら、サポートを行います。※こどもセンターの医療支援(病院及びリハビリ)を利用対象児に関しては、ひよこ・病院・リハビリらで協力してチームサポートを行います。すみれクラス＝本人から出されるサインを整理し、想いに共感し意思決定支援に繋げていけるよう寄り添います。ひまわりクラス＝「伝える」「聞く」「模倣する」「観察する」など、自分も周囲も大切にコミュニケーションを学びます。言葉支援だけでなく視覚支援など、こどもの個性・特性にあった方法を考え支援します。		
	人間関係社会性	個性・特性にあわせて、就学に向けた目標と課題の明確化を図っていきます。本人・家族・関係機関と連携を図りながら、サポートを行います。※こどもセンターの医療支援(病院及びリハビリ)を利用対象児に関しては、ひよこ・病院・リハビリらで協力してチームサポートを行います。すみれクラス＝ちいさなデキル事に注目します。デキル事を楽しみながら、好きな活動発見に繋がります。活動を通して、集団での交流を図ります。ひまわりクラス＝「順番交代」「役割」などルールを守る「指示に沿った行動をする」など、社会に適応するための支援の習得を目指します。「感情に気付く」「感情への対処方法」など、気持ちのコントロールを練習します。		
家族支援		本人・家族・関係機関と情報共有を密にします。緊急時の受け入れを状況にあわせて実施しています。家族のニーズや困りごとについて、勉強会や情報共有の場を提供しています（ほのぼのcafé）。	移行支援	本人・家族・関係機関と情報共有を密にします。就業に向けて、支援会議に参加・お互いを訪問しての情報共有・必要にあわせて見学対応をおこなうスムーズな移行を目指します。
地域支援・地域連携		インクルーシブに交流できる場・機会を設けています。※積極的なボランティアの受け入れや中学生の職場体験受け入れ実習の受け入れをおこなっています。事業所全体の取り組みとして、地域公開講座や秋祭りを実施し地域に開かれた事業所作りを図っています。	職員の質の向上	事業所内の勉強会にて質の向上を図ります（看護・看護助手勉強会、センター勉強会、避難指導、虐待防止など）。各種勉強会にも参加しています（全国重症心身障がい児・者日中活動協議会研修会など）。
主な行事等		春の園外活動。運動会(保育プログラム)。秋祭り(プログラムや出店等含めた地域交流)。七五三会。クリスマス会。卒園式。		